【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2007-93094(P2007-93094A)
【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)
【年通号数】公開・登録公報2007-014
【出願番号】特願2005-282397(P2005-282397)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　11/02　(2006.01)
Ｆ２５Ｂ　 1/00　(2006.01)
Ｆ２５Ｂ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　11/02　１０１Ｑ
Ｆ２５Ｂ　 1/00　１０１Ｄ
Ｆ２５Ｂ　13/00　３５１

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月22日(2008.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
密閉形圧縮機、冷暖切換え用四方切換え弁、室内熱交換器、主回路絞り装置、室外熱交換器を備えた空気調和機において、
上記密閉形圧縮機は、密閉ケースと、この密閉ケース内に収容される電動機部および、この電動機部と連結される複数の圧縮機構部とを具備し、
上記複数の圧縮機構部のうちの少なくとも１つの圧縮機構部は、
ローラが偏心回転自在に収容されるシリンダ室を備えたシリンダと、このシリンダに設けられ先端が上記ローラの周面に当接するよう押圧付勢されローラの回転方向に沿ってシリンダ室を二分するブレードと、上記シリンダ室に高圧冷媒を導いて上記ブレードをローラから離間させる高圧冷媒導入手段を備え、
負荷の大小に応じて全ての圧縮機構部で圧縮運転を行う大能力運転と、上記特定の圧縮機構部のみローラをブレードから離間させ圧縮させない低能力運転とに切換え可能とし、
上記高圧冷媒導入手段は、
能力切換え用四方切換え弁を備えるとともに、この能力切換え用四方切換え弁と上記密閉ケースを含む冷凍サイクルの高圧側とを連通する高圧導入管と、上記能力切換え用四方切換え弁と冷凍サイクルの低圧側とを連通する低圧導管と、上記能力切換え用四方切換え弁と上記特定の圧縮機構部におけるシリンダ室とを連通する第１の導管と、上記能力切換え用四方切換え弁と暖房運転時の室外熱交換器の入口側とを連通しバイパス絞り装置を有してバイパス回路を構成する第２の導管とを具備し、
上記能力切換え用四方切換え弁は、大能力運転時において上記高圧導管と第２の導管、低圧導管と第１の導管を連通し、低能力運転時において上記高圧導管と第１の導管、低圧導管と第２の導管とを連通し、
除霜運転時に、冷暖切換え用四方切換え弁を暖房の位置とし、主回路絞り装置を所定開度に開き、能力切換え用四方切換え弁を大能力運転の位置とし、バイパス絞り装置を所定開度に開くよう制御する制御手段を有することを特徴とする空気調和機。

【請求項２】
上記室内熱交換器は第１の熱交換部と第２の熱交換部を有し、上記第１の熱交換器部と第２の熱交換器部との間に除湿用絞り装置が設けられ、
上記制御手段は、除湿運転時に冷暖切換え用四方切換え弁を暖房の位置にし、能力切換え用四方切換え弁を大能力運転の位置にし、バイパス絞り装置を所定開度に開き、除湿用絞り装置を絞り状態に制御することを特徴とする請求項１記載の空気調和機。
【請求項３】
上記バイパス回路に、蓄熱手段を設けたことを特徴とする請求項１および請求項２のいずれかに記載の空気調和機。